



～夢・未来へ～
町民と議会をつなぐ

第84号

令和2年2月5日

河津町議会だより



QRコード

年頭のあいさつ.....	2
定例会議案.....	3
町長行政報告.....	4～5
一般質問.....	6～12
一部事務組合報告・私も一言.....	14～15
議会の動き・編集後記.....	16

どんど焼き(田中)

あけましておめでとうございませす 本年もよろしくお願ひ申し上げます



年頭のあいさつ

河津町議会議長 土屋 貴

新年あけましておめでとうございませす。町民の皆様におかれましては、健やかな新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。町議会に對しましては、温かいご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

河津町を取り巻く課題は、伊豆縦貫自動車道の早期完成、子育て支援施設の建設、令和5年度開設を目指す統合小学校計画の具体化、予想される自然災害への対策など、多くあります。また、人口減少、少子高齢化問題や経済対策など、町単独では解決できないことも多くあります。これらの課題を解決していくためには多額の費用がかかる事が予想され、持続可能なまちづくりのための財務基盤強化へ取り組むべきと考えます。国や県と協力して、いかに少ない費用で、大きな成果を上げる知恵を持ち、「選択と集中」を実践するかが求められます。

我々議会においても、昨年より議会改革に取り組んでおります。各常任委員会において、それぞれがテーマを決め研究を行ってあります。また「議会だより」もよりわかりやすく工夫をし、アンケートもお願いしています。町民の皆様には議会の活性化のためにご意見を下さるようお願いいたします。

10年ほど前から「チーム議会」という考え方が、会津若松市議会でも使われ、ゆつくりと全国に広がっています。議会の本来の在り方と議会の活性化を目指して、切磋琢磨して、町民と議員の連携を高めることが大切と考えております。

結びに、どうか本年も変わらぬご理解・ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに皆様のご健勝をお祈り申し上げます。新年の挨拶といたします。

令和元年度 第4回定例定例会議案

12月10日から第4回定例会が開かれた。

議案は人事2件、専決3件、条例4件、町道路線変更1件、補正予算3件であった。それぞれ質疑応答の結果いずれも可決された。

一般質問は7名の議員が行い2日間で17名の方が傍聴された。

●同意第14号(全員賛成) 河津町教育長の任命について

●同意第15号(全員賛成) 鈴木基(峰) 教育委員会委員の任命について

●承認第5号(全員賛成) 専決処分承認を求めることについて(令和元年度一般会計補正予算(第3号))

●承認第6号(全員賛成) 災害復旧費2401万円

専決処分の承認を求めることについて(河津町

特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例)

●承認第7号(全員賛成) 専決処分の承認を求めることについて(令和元年度一般会計補正予算(第4号))

●議案第51号(全員賛成) 河津町環境まちづくり

基金条例の制定について 再生可能エネルギー発電施設の立地による寄附金等を住環境の整備及び自然環境の保全を図る事業等の経費に充てる。

●議案第52号(全員賛成) 河津町漁港管理条例の一部を改正する条例について

●議案第53号(全員賛成) 消費税変更に伴うもの

海岸保全区域占有料及び土石採取料徴収条例の一部を改正する条例について

●議案第54号(全員賛成) 河津町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

●議案第55号(全員賛成) 人事院勧告に基づく改正で、初任給及び若年層の号給月額を引き上げ(平均改定率0.1%)

●議案第56号(全員賛成) 令和元年度河津町一般会計補正予算(第5号)

町道路線の変更について 小鍋峠線小鍋字坂口110番地から大鍋字下段野11番4地まで。

●議案第57号(全員賛成) 令和元年度河津町水道事業会計補正予算(第1号)

●議案第58号(全員賛成) 令和元年度河津町温泉事業会計補正予算(第1号)

温泉事業費61万円



議案第55号 小鍋峠線(写真中央道路部分) 提供:国土交通省



鈴木基教育長挨拶

議員の皆様方には、同意をいただきありがとうございます。この仕事はただごとではない職だと痛感しています。もとより微力ですが、今後とも皆様方のご指導をよろしくお願ひいたします。

令和元年第4回定例会行政報告（抜粋）



市長 伊豆宏重

自主防災会が主体となり地域防災訓練を実施した。南海トラフ地震臨時情報に関する防災対策

賀茂地区のモデル市町として、津波災害警戒区域（イエローゾーン）が大部分を占める浜地区において、勉強会を開催した。

山田勇氏に功労表彰を、土屋達雄氏に感謝状を贈呈し、これまでの功績を称えた。

河津バガテル公園事業再生事業
バラ園の運営は町が直営で維持管理を行っていく。フランス広場については、飲食の提供を民間委託で考えており、民間事業者を募る。

町コミュニティセンター耐震対策事業
10月30日に入札する予定の町コミュニティセンター耐震対策実施設計業

地域防災訓練
12月1日の「地域防災の日」に合わせ、各地区

公共施設等個別管理計画策定業務
公共施設等個別管理計画策定業務委託は、玉野総合コンサルタント(株)沼津事務所が落札し、572万円

公共施設等個別管理計画策定業務
公共施設等個別管理計画策定業務委託は、玉野総合コンサルタント(株)沼津事務所が落札し、572万円

命化修繕計画・橋梁点検業務委託は静岡コンサル

タント(株)と132万円で契約した。この業務は橋梁の定期点検を5年毎に実施している。

笹原地区道路施設改修工事は、(株)大塩組と396万円

で契約した。浜地区道路施設改修工事その2は、(有)加畑組と415万8千円

で契約した。毎年継続して経年劣化した側溝上部を改修し、道路機能の改善を図るもの。

伊豆縦貫自動車道関係
大鍋・小鍋地内で本線の橋梁下部工事や切土工事が順調に進み、小鍋地区からのトンネル工事も始まった。また、逆川地内では、トンネル工事が約1200m掘削されて

おり、本線の橋梁下部工事、切土工事も順調に進んでいる。

近隣住民の方々を対象とした工事説明会が小鍋公民館、逆川公民館、湯ヶ野基幹集落センターでそれぞれ開催され、工事進捗状況の説明や、今後の

業務委託は、不調となった。河津寄って軽トラ市withにぎわい広場

河津町プレミアム付商品券事業
10月1日の消費税・地方消費税の引き上げに伴い、20%のプレミアム付き商品券を対象者に発行し、住民税非課税者1549人、3歳未満児108人を対象に、販売額は約945万円となっている。

本年度の町税収納状況
町税収納状況は、10月末現在、収納率59・9%で前年比1・0ポイントの増、国民健康保険税の収納状況は、収納率51・6%で前年比0・4ポイントの増となっている。

子育て支援施設整備事業
子育て支援施設基本設計は現在、「子ども子育て会議」にて協議している。建設予定地は職員駐車場として使用しており、その代替用地の測量設計業務と土地鑑定評価業務を今年度中に実施する。

地域医療ネットワーク基盤整備事業
二次救急医療機関と専門医療機関が患者の画像、

検査データなどをリアルタイムに共有できるネットワークを整備し、指導助言を受けて適切な応急処置等を行うとともに、搬送後の速やかな救急医療を提供できる体制を構築し、賀茂地域の二次救急医療機関に対し「地域医療ネットワーク」の導入を図られるよう協議した。下田メディカルセンターと伊豆今井病院が令和2年4月の運用開始に向け整備することとなった。

全国農業担い手サミット
第22回全国農業サミットは、当町においては、世界農業遺産に認定されたわさび栽培箇所の泉奥原のわさび田で研修を行った。

災害復旧事業
農林水産施設等に大きな被害を受け、公共土木施設も被害を受けた。台風15号により、河津川溪流歩道、佐ヶ野溪谷遊歩道において被害があ

り、梨本地区は釜滝つり橋、本谷川の初景滝公衆トイレ付近護岸に被害を受けた。また、町道田中見高線では路肩の一部が崩壊し、河津川に架かる峰橋が崩落した。

台風19号により、今井浜露天風呂が被害を受けた。早急な復旧が求められることから専決処分による災害復旧費を計上し対応している。

なお、町道田中見高線、本谷川については、国の災害査定を受け、今後復旧工事を実施する。また、梨本七滝地区については、来年度策定予定の観光地エリア景観計画の中で再整備を検討していく。

平成27年度から河津町道路ストック総点検の結果を踏まえ、毎年計画的に舗装補修を実施している防災・安全交付金町道鍛冶屋沢線舗装補修工事は九三工業(株)と1507万円

で契約した。防災・安全交付金長寿

工事予定等について事業者説明が行われた。伊豆縦貫自動車道建設発生土の有効活用として、逆川地区の河川を付替え、埋め立てを行っている土地の測量を進めていくため、測量業務委託の補正予算を計上した。

伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会では、更なる事業推進ならびに早期全線開通への要望活動を11月19日に国土交通省中部地方整備局で、11月21日に財務省・国土交通省で行った。

水道事業
配水池水質監視システム設置工事は、協立電機(株)と610万5千円で契約した。見高入谷配水池に設置する工事であり、今後も各水系に計画的に設置する予定。

農免配水池水道管新設工事は、東海建設(株)と385万円

で契約した。10t見高入谷配水池から30t農免配水池に切り替えるための新設工事である。見高入谷地区さく井工

事については、東洋地研(株)と429万円で契約した。見高入谷地内において、新たな水源を求める工事である。台風15号により被害を受けた東伊豆町へ、給水車両と給水パックの支援を行った。また、台風19号により断水した熱海市には、給水タンク2基と給水パックを、函南町には応急給水支援として、給水車両と町職員を派遣した。

河津町立南小学校及びさくら幼稚園施設長寿命化計画策定業務委託は、玉野総合コンサルタント(株)沼津事務所と297万円

で契約した。令和2年度までに個別施設毎の計画を策定し、計画的に老朽化対策を進めていく、来年度は東小学校と西小学校を策定する予定。

河津町立小学校統合準備委員会では、町議会議員と委員会との意見交換会を開催した。全4回の

提出に向けて審議を行った。南小学校へのタブレット型パソコンの購入が完了し、授業の充実化が図られた。

第18回河津町青少年の主張大会が、11月9日ふれあいホールで行われ、小・中学校と稲取高校の7名が夢、家族、将来の町などについて、思い思いの主張をした。

第3回「伊豆の踊子」読書感想文コンクールを行った。表彰式は、第15回伊豆の踊子文学祭において、最優秀賞3名・優秀賞2名に表彰状を授与した。

第20回静岡県市町対抗駅伝競走大会については、11月30日静岡市を会場に12区間42・195キロのコースで行われ、県内全市町選手団が出場した。3年連続ふるさと賞を受賞した。

(5)

町政を問う

一般質問



みやざき けいじ 議員



文豪が愛した旧南豆荘露天風呂

質問：十数年間の間、当初予算4億円前後の投資的経費を組んできた。直近2年当初予算の8%、3・8%緊縮予算だが町長の考えは。

町長：施設、道路、橋などの延命化や調査費用、選択して建設事業を進める。普通建設事業は昨年

からの継続事業が多く補正で対応、合計で7・3%、2億9千万。
質問：近隣他市町では松崎、東伊豆、南伊豆町でも5億円単位、西伊豆町では8億円位、河津町では1億4千40万円、町内経済が回っていかない。町内廃業する業者が増え

答え 観光を主体に外部からの収入に依存しているが。

質問 現在の景気状況をどう捉えているか

質問：着地型観光のこの2年間の成果は。
町長：城山や涅槃堂、峰温泉桜の丘など周遊への誘導、渋谷区との交流事業を行った。
質問：文学・文化遺産を生かした観光施策を進めるべきだが、お考えは。
町長：福田家さんに川端康成、伊豆の踊り子に関する多くの資料がある。

基礎資料となる元帳ができた。今後町内の文豪などの文化遺産を通して観光的に利用したい。
質問：井伏鱒二ほか文豪が利用した谷津地区南豆荘跡地にお風呂が残っている。紹介する看板を設置し文学の散歩道として活用は出来ないか。
町長：現地をみて活用できるなら地元の方達と一

緒に活用できればよい。
質問：秋の時期の誘客のために河津川のり面に4kmに渡って一面にコスモスを咲かせ、散策しながら涅槃堂はじめ各地を巡って頂く観光施策が必要では。
町長：河川管理者の関係、実行する組織を含め、植栽することが可能かどうか検討していきたい。

答え 河津川沿いだけでなく、城山や涅槃堂、峰桜の丘など周遊への誘導

質問 着地型観光について

町政を問う

一般質問



わたなべ まさひろ 議員



わさび田の視察状況

質問：台風による農業分野における被害状況とその対応は。
町長：農産物の被害は県の調査によると5750万円、ハウスなどの被害は590万円、わさび沢の被害は8件4400万円、わさびの農作物の被害も2300万円あった。
わさび生産者より「わさび沢復旧は莫大な費用

が掛かるが農地という判断で農業施設として認められていない。世界農業遺産となった畳石式水わさびの栽培方法を今後継承・保存していくために災害復旧が大事であり配慮していただきたい。」という要望を受け県当局や国会議員にも要望内容を伝え対策を依頼した。現在新たな補助制度の構

築に向けて検討してもらっている。
総務課長：台風19号による被害者への国の支援は現在検討されているところですので、その内容により町でも支援事業同様対応していきたい。
他「鳥獣害対策について」関連1件

答え 新たな補助制度の構築に向け検討をしてもらっている

質問 台風による農業分野の被害と対応は

質問：台風15号19号は当町にどのような被害を与え、どのように対応したのか？
町長：集中的な豪雨により峰橋の倒壊、釜滝のつり橋の全壊、住宅の一部床上浸水や一部での停電もあった。19号ではレベル4の避難勧告を発令し、

各避難所の避難者数は169世帯358人となった。
総務課長：15号による公共施設等の災害復旧に要する費用は2401万円の専決補正予算を組み対応にあたった。
町長：19号に当面対応する費用として災害復旧費

1278万円の専決補正予算を組んだ。
また崩落した峰橋は撤去する方向で検討しており、新設の考えはない。橋台部分については今後河川管理者と協議していく。

質問 台風の被害と町の対応は

答え 人的被害はないものの多くの被害を受けた専決補正予算を組み対応にあたった

町政を問う

一般質問



おおかわ よしき 大川良樹 議員



昭和女子大学生(踊り子)と観光客が五目並べ

質問：企業版ふるさと納税の、企業に対し税優遇が、来年度より現在の6割控除から9割控除に変わり、また制度も令和6年度まで延長される、町は計画する事業を、内閣府に地域再生計画として届け出、認定を受けなければならぬ「河津桜まちづくり計画」を認定事業にできないか。

答え 具体的に事業が決まれば検討を

町長：具体的に事業が決まれば制度的に可能と思うので、検討したい。企画調整課長：制度の活用のためには、事業の地域再生計画を作成し、内閣府の認定を受け、企業から寄附を募る、事業成否は、首長のトップセールスがポイントになる。

質問：個人版ふるさと納税、今年度より「さとふる」を導入したが利用状況は。町長：財源確保の面で大きいので、来年度も力を入れて行く。企画調整課長：11月末現在、前年同月比7・2%増。他「河津桜まちづくり計画策定」関連1件

質問 企業版ふるさと納税の認定事業に「河津桜まちづくり計画」は

質問：9月議会、町長の答弁に添えた訳ではないが、栖足寺くならんだの里までトウクトウクを走らせたがご存知か。町長：早速、新たな仕組み、交通手段としてトウクトウクを活用したのは、私の想像を超える感動。質問：第30回河津桜まつりのイベントとして、トウクトウクを動かす協力を

答え 「五目並べ」の新たな動きに町も大いに期待

質問 「五目並べ」で町おこし、湯ヶ野「福田家」を五目並べの聖地に

町長：谷津地区の観光施策として実施を考えているなら、担当課と助成制度の相談を。質問：12月の「伊豆の踊子文学祭」のイベントで「温泉で五目並べ」を行った。小説「伊豆の踊子」の湯ヶ野での描写で学生と踊り子が夢中になって「五目並べ」をするシーンが描かれていること、福田家にその当時の碁盤、碁石が残っていることから、湯ヶ野「福田家」を五目並べの聖地にし、町おこしにつなげる協力はできないか。町長：「五目並べ」の新たな動きに町も大いに期待している。

町政を問う

一般質問



災害対策本部運営訓練



わたなべ ひろし 渡邊弘 議員

質問 台風被害状況の対応と対策

答え 今回の経験から検討すべき課題が見えた

質問：河津川の水位、災害対策本部の立ち上げ、避難指示発令状況は。総務課長：水位は15号が303cm、19号が133cmであった。災害対策本部の立ち上げは、15号は事前配備体制、19号は12日に立ち上げた。避難指示は15号が警戒レベル3、19号が警戒レベル4の発令をした。

質問：谷津地区住民より川の増水により浸水して危険な状況なので避難の呼びかけをお願いしたが対応はしたのか。総務課長：連絡は承知している。水位が下降しており、避難発令により、かえって危険や混乱も想定されたため、放送を控えた。

質問：災害状況の把握は J.A・農林事務所は現地視察をしているが、町の対応は。総務課長：区長や住民からの通報。職員によるパトロールにより収集した情報を集計管理する。質問：ドローンの導入は。総務課長：職員への講習会も含め考えたい。

質問 任意予防接種インフルエンザ接種の助成

答え 国の制度に当たらない。無償制度の費用増のため

質問：子育て家庭で予防接種の費用の負担が大きいく接種をしない状況もある。費用の助成に取り組めないか。賀茂市町の助成状況は。町長：任意接種であり、国の制度に当たらない。医療費無償制度を高校生まで拡大し費用が増大したため。健康福祉課長：賀茂市町

助成状況はインフルエンザが南伊豆町、松崎町、おたふく風邪等が西伊豆町。質問：中学生以下の対象人数と費用の試算は。健康福祉課長：対象人数は730人。費用試算は高齢者の助成額約2000円で試算すると146万円。質問：先生の予防接種の

状況と子供たちの予防接種の必要性はどう考えるのか。教育長：教員は教員互助会からの助成制度がある。また年次有給休暇等の利用をし体制を整えている。子供たちの接種は町長の答弁のように任意接種に切り替わった経緯を鑑み学校と連携をとっていく。

町政を問う 一般質問



くわ はら たけし 議員 桑原 猛



現状の消防車両

質問：現在の緊急車両や公用車の運用について、現行の普通免許証だけでは対応ができなくなる。運転資格の問題をどのように考え、どのような対応をしていくのか。

町長：函南町の給水車の派遣では、運転免許証の関係で、職員を選抜をし

た。全国的に消防団の関係が、大きな問題となっている。法律の問題もあり、大変難しいが、消防団の活動の中で消防ポンプ車等の運転が限られてしまふという現実がある。現行の普通免許を所有している団員等が今後取

答え どのような対応ができるか考えたい

質問 災害車両の運用と運転免許証は

質問：一連の台風を踏まえて避難対策の反省点、改善点は。町長：情報伝達の判断の時期、各避難所の洪水時に安全確保ができるかという問題、機材についても備えはできているのか、学校関係者の連携など、今回の経験から、検討すべき課題が見えてきた。

質問：避難所での生活に町で用意できるもの、個人で用意しなければいけないものは。

町長：町が持っている食料については、発災後の避難所の非常食としての備えなので、事前避難の場合にはできるだけ自身で持って来ていただきたい。長期にわたる避難生活については、今後検討していきたい。

答え 一つ一つ問題を把握、整理して、対策を順次解決していく

質問 避難所における対策は

質問：災害発生時は役場に対策本部が設置され、復旧へ向けた拠点になるが、9月の台風15号では千葉県において、広域の停電が発生し非常用発電機の燃料が短時間で切れ、機能不全になった自治体がある。非常用発電機の稼働時間、民間事業者との供給協定の締結を検討してはどうか。

町長：民間事業者との燃料の優先的供給協定の締結は以前から検討を進めており、燃料確保に向けて事業者との協定締結まで進めていきたい。総務課長：昨年10月に庁舎の非常用電源供給状況の確認のため、全庁舎を停電状態にして、課題のあぶり出しを実施した。実際に稼働させた中で運

転時間の確認を行っている。その結果、本庁舎の非常用電源約54時間、保健福祉防災センターは約60時間稼働可能と判った。現在、地震や浸水対策の対応も含め検証、検討をしている。他「消防河津分署の施設更新について」1件

町政を問う 一般質問



役場庁舎の非常用発電機と燃料タンク



えん どう よし のり 議員 遠藤 嘉規

質問：連続する台風に備え、多くの事前避難者があった。大型化する台風を考えると、避難環境整備、町民の防災意識の向上等が必要ではないか。町長：とにかく早目の避難が大事だと思う。昨年からレベル3で地区公民館等への避難と同時に、保健福祉センターを避難所として開設をしている。

台風19号では、保健福祉センターをはじめ100人以上の方が避難をした。中学校の避難に際して、校長先生にってもらい、校舎への避難も想定していた。校舎にはエアコンがあるので、環境的には体育館より良い。ただ、学校や教育委員会との協議も必要、今回の教訓をもとに検討して

生かしていきたい。また、「防災ガイドブック」を活用して、自分の地域を知る、それを確認した上で備えて、最終的には行動してもらおう。避難の場合には、できるだけ近所の人に声をかけ、共に助け合うことに努めて欲しい。自分の命は自分で守るという意識で行動していただきたい。

答え 教訓をもとに対策について検討していきたい

質問 台風15号19号を受けて今後の対応は

質問 災害時、非常用発電機の燃料供給は

答え 民間事業者との協定締結に向けて進めている

議会だより第84号 読者アンケート

抽選で5名様に
「河津踊り子温泉会館入浴券」
プレゼント!!

お名前 _____

ご住所 _____

ご連絡先 _____

読者の皆様のご意見を紙面に反映したく、下記のアンケートにぜひご協力ください。
お名前、ご住所、ご連絡先、各質問の回答をご記入の上、FAXあるいは郵送（封筒）にて河津町議会事務局宛にお送りください。

締め切り
2月末日必着

- FAX送付先：下記参照
- 郵送先：〒413-0595 静岡県賀茂郡河津町田中212-2

河津町役場 議会事務局
※郵送の際の切手代等は各自ご負担願います。

アンケート回答者の中から抽選で、5名様に「河津踊り子温泉会館入浴券」を差し上げます。
なお、当選者の発表は発送をもって代えさせていただきます。

Q1 「興味を引いた」あるいは「役に立った」記事は？

Q2 「議会だより」の記事で目を通したものは？（□にレ点をつけてください。複数回答可）

- 2P 年頭のあいさつ 3P 定例会議案 4～5P 町長行政報告
- 6～12P 一般質問 14～15P 一部事務組合報告、私も一言
- 16P 議会の動き・編集後記

Q3 議会だよりに対する満足度は、どのくらいですか？（□にレ点をつけてください。）

1. 大変満足 2. まあまあ満足 3. もう少し 4. 不満

Q4 議会だよりの記事への感想、取り上げてほしいテーマなどがあればご記入ください。

お寄せいただきました情報は、議会だよりで紹介させていただく場合があります。また取材、原稿依頼等をさせていただく場合は、広報編集委員会より改めてご連絡申し上げます。ここでいただきました個人情報は、上記の目的以外に使用することはありません。 議会事務局 0558-34-1957

FAX番号 0558-34-1405

町政を問う

一般質問



台風15号による釜滝（梨本）のつり橋崩落



うえむら かずまさ 議員
上村和正

質問 河津版国土強靱化地域計画は

答え 次年度以降に策定する方向で検討

質問：計画策定により、交付金等による支援が優先配分され強靱化の取組みを加速するが、必要性及び総合計画との関連性は。町長：国土強靱化基本法により、政府一丸となつて推進している。町としては、当然必要性は認められる。県内でも策定済みは6市町で、特に高速道路

などを抱えている市町が多い。来年度緊急対策の期限が切れるので、伊豆縦貫道もあり延長を要望している。地域計画と総合計画を並列に位置づける並列型を考えている。

今年度は町民を対象としたアンケート調査、各種団体へのヒアリング等を行う。来年度は、新総合計画の満了時に20歳となる小学5年生からの提言、役員若手職員対象のワークショップ等を行い審議会に諮り進める。

質問 七滝版観光地エリア景観計画は

答え 重要な計画、今後進めていきたい

質問：七滝観光センター、ジオサイトビジターセンター解体の経緯は。町長：耐震化の問題があり、新年度早い時期に解体を終了させる。質問：観光センター等の施設がなくなることで、観光が寂れていくことが懸念される。台風による災害復旧を含めた観光地エリア景観計画策定

は。町長：観光施設の建設等を行う場合に景観等を配慮した観光地域づくり整備計画の位置づけがないと、県の補助を受けることが出来ない。並行して観光地エリア景観計画と整合を図り、県の承認を得ることが採択要件。来年度景観団体として県と協議をしてつくる予定。

メリットとしては、メガソーラーなどの大規模な土地利用事業に、景観に与える影響の場合には抑制を促す効果もある。現実的には、今回の災害等で釜滝のつり橋が崩落したこともあり、災害復旧するためにも、早くしなければならぬ。地区の人たちと話し合いをして進めていきたい。

一部事務組合

伊豆斎場組合議会

令和元年10月4日伊豆斎場施設長寿命化事業推進のため熱海市火葬場・伊豆市火葬場の視察研修を実施した。両施設とも火葬炉・待合室、運営方法など質問も含め研修をした。

11月25日全員協議会が開催され、公共施設等総合管理計画が提案された老朽化、維持管理費などの課題解決のため計画が策定された。構成市町は下田市・東伊豆町・南伊豆町・河津町である。

同日臨時会が開催され斎場長寿命化改修に関する負担金の率を定める条例案と補正予算の審議が行われた。負担率は均等割と人口割で今までと同率とした。補正予算は計画策定業務委託費とし620万円増で可決。



熱海市火葬場視察研修の様子

東河環境センター議会

令和元年9月26日、第2回定例会が開催された。

議案第4号 令和元年度東河環境センター会計補正予算(第2号)が、歳入歳出の総額にそれぞれ3563万8千円を追加し、全会一致で可決。おもに平成29年度から実施されている基幹的設備改良工事に伴う、塵芥処理の運搬費用に充てられる。議案第5号 平成30年度

東河環境センター会計歳入歳出決算認定について、収入済額19億4299万5323円、支出済額18億9735万7103円となり、全会一致で可決。閉会後9月5日に発生した、粗大ごみ処理施設火災、ならびに9月8日台風15号による被害報告と対応状況について、詳細な説明がされた。現在改修中の2号炉は、1月下旬に本格稼働する。

一部事務組合下田メディカルセンター議会

令和元年度上半期病院事業業務状況

入院延べ患者数は前年同期比8・4%増の16520人。内科5153人。小児科66人。外科1504人。整形外科5681人。眼科975人。脳神経外科3083人。泌尿器科58人。外来延べ患者数前年同期比6・1%増の35275人。内

科10045人。循環器内科931人。小児科2503人。外科2450人。整形外科7384人。眼科3380人。耳鼻咽喉科1271人。脳神経外科3269人。婦人科149人。泌尿器科1470人。皮膚科14人。リハビリテーション科1899人。ドック188人。検診322人。

日時 令和元年11月26日
場所 東京都伊豆大島町役場会議室 大島医療センター 総合福祉施設椿の里
参加議員 一部事務組合下田メディカルセンター議会議員9名及び事務局2名。(当町担当議員2名。)

離島での医師の確保の難しさ、特に産婦人科の維持と医師の確保の難しさを感じた。



大島医療センター

議員研修会

令和元年度 町村議会広報研修会

令和元年9月25日に、町村議会広報研修会が、東京都千代田区の「シーンバツハ サボア」で開催され、広報委員5名で参加をした。

講師は、『月刊総務』編集長 豊田健一氏「読者目線で親切な広報誌を作るには、手に取られ、読まれ、行動に結びつけるには」と、『朝日新聞メディアアドバイザー』校閲事業部長 前田安正氏「情報をわかりやすく伝える」、「エディター」吉村潔氏「町村議会広報コンクール 上位入賞団体の評価ポイント」と3名の講師を迎え、固い広報誌をまず読み手の方々に、手に取ってもらうには、見出しとテーマの捉え方、主語、述語をしっかり対応させ、読み手が理解しやすい文にするな



町村議会広報研修会

ど、例文を使い、わかりやすい文章の工夫を受講し、今後も読み手の立場にたち、少しでも手に取っていただける広報誌を目指していきたい。

賀茂郡町議会議員研修会

10月18日に賀茂郡町議会議員研修会が、南伊豆町「休暇村 南伊豆」で開催された。

講師は、『跡見学園女子大学 観光コミュニケーション学部』教授、『(一社)危機管理教育研究所』主席研究員 鍵屋一氏を迎え「災害時の議会・議員の役割」の講義を受けた。なかでも、災害時の議



鍵屋一講師

会・議員5つの行動・指針を学んだ。
1、自らが被災しないように準備する
2、地域での情報活動を
3、情報の収集と地域への提供を
4、個別の要請は避け、地域の情報は議会に集約
5、地域と議会・執行機関との橋渡しを

私言

(一社)河津町観光協会 会長 山田和子



賀茂地域において現在出産のできる医療機関は下田市と東伊豆町の2か所だけとなり将来を危惧する声や少子化対策の観点から産科の役割を当病院で行えるかが検討課題となっている。伊豆大島町でも産婦人科を維持継続されている熱意と労苦や解決方法について教示願うとともに総合福祉施設における人材確保対策や高齢化に伴う課題とその解決方法について視察した。

「川端康成と五目並べ」

昨秋、伊豆の踊子文学祭では、下田市観光協会と広域連携し、湯ヶ野温泉「福田家」を会場に「伊豆の踊子杯 五目並べ大会」を開催した。下田市立稲梓小学校VS河津町立西小学校の児童が、学校対抗の対局をし、大変盛り上がった。

この五目並べ大会を共に企画した、下田市観光協会と、もっと多くの方に楽しんでもらえるよう「伊豆の踊子杯 五目並べ」を継続事業としたい。今のところ、五目並べ大会は、他市町村での実施はないようなので、いずれは河津町で全国大会を開催できたら良いのではないのでしょうか。

その第一歩として、今後は、河津町立3小学校、河津中学校にも、協力をいただき、五目並べの体験、対局を楽しんでもらいたい。



湯ヶ野「福田家」



市長 五十屋 貴 隆

議会の動き

● 議長の活動

● 町議会活動及び常任委員会

9月

- ・ 議会広報編集委員会研修会 (東京都)

10月

- ・ 議員月例会

- ・ 栃木県さくら市議会行政視察で来町

- ・ 町立小学校統合準備委員会意見交換会

- ・ 下田警察署河津町交番竣工式

- ・ わかば保育園運動会

11月

- ・ 議員説明会

- ・ 定期監査結果報告

12月

- ・ 議会全員協議会

- ・ 議会運営委員会

- ・ 例月出納検査結果報告 (9月・10月・11月)

- ・ 町社会福祉大会 (静岡市)

- ・ 町青年の主張大会

- ・ 姉妹商工会交流事業

- ・ 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

- ・ 社会福祉協議会理事會

- ・ 共同募金委員会運営委員会

11月

- ・ 町村議会議長全国大会 (東京都)

- ・ 国民健康保険運営協議会委員研修会(静岡市)

- ・ 郡町議会議長会県外視察 (東京都)

- ・ 県町村議会議長会総会及び、正副議長研修会 (静岡市)

- ・ 県町村議会議長会総会 (河津町)

● 議長に要請のあった諸国会

9月

- ・ 県消防協会消防操法県大会 (焼津市)

- ・ 秋の全国交通安全運動街頭広報

- ・ 下田警察署河津町交番竣工式

- ・ わかば保育園運動会

- ・ 町教育講演会

- ・ 町戦没者招魂祭

- ・ 町表彰式

- ・ 国道414号整備促進期成同盟会要望活動

11月

- ・ 町社会福祉大会 (静岡市)

- ・ 町青年の主張大会

- ・ 姉妹商工会交流事業

- ・ 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

- ・ 社会福祉協議会理事會

- ・ 共同募金委員会運営委員会

- ・ 町村議会議長全国大会 (東京都・名古屋市)

- ・ 第20回しずおか市町対抗駅伝競走大会

- ・ 姉妹商工会交流事業

- ・ 伊豆縦貫自動車道建設促進期成同盟会要望活動

- ・ 社会福祉協議会理事會

- ・ 共同募金委員会運営委員会

- ・ 町村議会議長全国大会 (東京都)

- ・ 国民健康保険運営協議会委員研修会(静岡市)

- ・ 郡町議会議長会県外視察 (東京都)

- ・ 県町村議会議長会総会及び、正副議長研修会 (静岡市)

- ・ 県町村議会議長会総会 (河津町)

不定期掲載新コーナー

「読者アンケートのしつもん」に答えまわー!

問

谷津地内「河津川河口付近からイズー」区間の歩道整備の進捗状況はどうなっている。

回答

国道135号歩道未整備区間(谷津地内)について、津波対策協議会においてしー津波に対する施設整備について方針が示され、河川管理者である静岡県、漁港管理者の河津町は津波対策の整備を実施することになっており、歩道整備についても同協議会に案が示されている。現在、河川管理者側で別途計画を策定中であり策定後、平行して事業化の予定。



河津川河口

編集後記

議会は何をしているのか分からない。議員が居ても居なくても何も変わらない。だから選挙に行かない。と云う様な問題が全国で云われていきます。そこで改めて注目されているのが「議会だより」議会の活動を記事にして、何をしているのか知ってもらえる様に取組んでいます。こんな取り組みも議会改革の一助だと思えます。(遠藤嘉規)

議会広報編集委員会

委員長 上村和正

副委員長 大川良樹

委員 桑原 猛

渡邊昌昭

遠藤嘉規

定例会の日程は、河津町ホームページでも確認できます。

議会だよりは、年4回(2月、4月、7月、10月)発行しております。

議 会 傍 聴 歓 迎 し て お り ま す 。